

内閣府副大臣／衆議院議員

あかま二郎

西日本豪雨対策 特集号



健気な被災者の“頑張り”に
心をもって応えたい。

(広島県呉市安浦まちづくりセンター避難所)



一人ひとりの健康に
心を配った支援を。

一人ひとりに
できることを
寄り添い、
すべてを行う！

平成30年7月
西日本を襲った豪雨。
各地で土砂崩れや
甚大な浸水被害を
もたらした。
200人を超える犠牲者
1万棟以上の建物が全壊
または半壊。
道路や鉄道などの
インフラにも
深い爪痕が…。
失われた日常を
1日でも早く
取り戻す！
揺るぎない決意のもと
“被災地の声”に
しっかりと耳を傾け
力強く、速やかに
取り組めます。
できる支援すべてを。



心からの哀悼を捧げる。

(広島県呉市3人の方々が犠牲になられた土砂災害現場にて)



懸命な捜索、
復旧作業が続く災害現場。

(三村熊野町長より、川角地区の“状況”をうかがう)



広島県内全域で
7,000箇所以上の斜面が崩落。



自衛隊、消防、警察、海保など“総力戦で”

—内閣府副大臣として 総理と現地へ—

相模原市内 浸水想定50cm以上エリアも — 防災は自分の地域の“危険度”を知ることから —

「命を守る」第一歩

西日本豪雨では、想定をはるかに超える大雨が各地に振り続けたことで、土砂崩れ、河川の氾濫、堤防の決壊などが引き起こされました。

西日本各地では、史上最大となる雨量が観測され、72時間雨量は119地点で過去最大を記録するほどでした。

気候の変動などにより、日本全国どこでも“想定外の豪雨”に見舞われる可能性があります。

相模原市内も例外ではないのです。1時間雨量が約100mmで、浸水想定が50cm以上になるエリアが各所に存在します。

まずは、自分の地域にどんな危険性があるのかを知ることが「命を守る」ための第一歩となります。

相模原市内(中央区の一部)の浸水ハザードマップ



浸水深0.2以上0.5m未満 (橙色) 浸水深0.5以上1.0m未満 (緑色)

知っておきたい「避難情報」

また、「命を守る」ためには、災害情報に十分に注意を払うことも大事です。

西日本豪雨においても、さまざまな情報が出されましたが、残念ながら住民の適切な避難につながらなかったという指摘もあります。

ここで改めて、「避難に関する情報」を整理しましたので、是非、参考にして下さい。

気象庁	危険度	市町村
注意報	低	避難準備・高齢者等避難開始
警報	中	避難勧告
特別警報	高	避難指示(緊急)

避難に関する情報

東奔西走

車座ふるさとトーク

「子どもの事故防止」テーマに東京で開催

地域住民の声を政府に届けて施策に反映させることを目的に全国で開催されている「車座ふるさとトーク」。

今回は「子どもの安全・事故防止」をテーマに豊島区で開催されました。

幼児の保護者や、地域の保育園、小学校、医療機関の先生や医師を始め豊島区の関係者などにご参加いただきました。

皆さんから、活発な意見、積極的な提言がなされ、大いに参考とさせていただきます。

とりわけ「子どもの事故についての様々な事例を収集・把握し、いかに社会全体でリスク

情報の共有化を図っていくか」については、政府として柔軟な発想と取り組みで前に進めてまいります。



追憶

「二郎、けっして勘違いするな」

去る6月26日、父一之(享年82歳)が逝去いたしました。生前の皆さまからのご厚情に改めて御礼申し上げます。

宮城県から上京し、読売新聞の記者をへて県議会議員。そして「福祉」にも携わってきた親父。

多くの仲間の“支え”があったからこそ“活動の場”を与えられたものと深く感謝していたはず。亡くなる直前には「ありがとう、ありがとう」と幾度も口にしていました。

親父がいたからこそ、今の立場があるのだと思っています。あまり「ああしろ、こうしろ」とは言わない親父でした。

けれども、私が県議会議員に初当選した時だけは「いいか、二郎。みんなが頭を下げるのは、お前にしているんじゃない。お前の肩書きにしているんだぞ。そのことだけは忘れるな」と念を押すように語りました。

政治活動を始めて20年にならんとしています。改めて“親父の言葉”を胸に、より謙虚に、勘違いすることなく政治家としての歩みを進めていく決意です。



在りし目の父 一之

忙中閑有 逃がしてあげようヨ



「クマゼミ捕まえたヨ!」

息子雄二郎(小5)は夏が大好き。

それもそのはず、存分に「虫捕り」ができるからだ。雄二郎の“虫好き”は、カブトムシ、クワガタ程度では収まらない。カマキリ、バッタなど何でもだ。つい先日も、家の中で自分のTシャツに何かつけているなどと思ったら、「セミ」をくっつけ

ているのです。「雄チャン、かわいそうだから逃がしてあげな」と言っても、聞かない。

雄二郎曰く「これはクマゼミだからなかなか捕まえられないんだヨ」と。

何ゼミでもいいけど、バッチャブローチではないのだから、Tシャツにつけて遊ぶのは…。